茨木市観光協会発! 街のアレコレノート

発行日/平成25年9月10日
発行者/一般社団法人 茨木市観光協会　会長 北尾 渉
茨木市上中条1-9-20 茨木商工会議所2F　TEL.072-645-2020
編集・制作　茨木市観光協会　情報誌プロジェクト

いばらきのおと

VOL.10
2013 秋号

いばらき街中ミステリーツアー?!

日々行き来する商店街や桜通りなど…ふと、目をやるとお顔が白く塗られたお地蔵さまを一度はみたことあるよね？ちょっと気なる「化粧地蔵さま」を探ってみたよ！

■とのまち地蔵
■片桐町5
■前は、とのまちという所だったそうです

■えのき地蔵さま
■大手町9−2
■7体のお地蔵さんがあります。1体だけどうして上が三角なのかな

■川立ち地蔵さま
■別院町3−15
■1体の地蔵だったのに、万博の時に川から3体見つかったそう

■川で流されてきたお地蔵さま
■新庄町11−10
■たくさん流れてきたんですね

■出世地蔵さま
■別院町3−2
■えらくなるお地蔵さまなのかな

■子やす地蔵さま
■新庄町9−6
■子どもが産まれやすいのかな

■お名前不明
■大手町8−8
■薄化粧のお地蔵さまですね

■大手町で見つかったお地蔵さま
■新庄町3−29
■雪だるまみたいですね

化粧地蔵さまの謎を探る？！

地図データ © 2013 Google, ZENRIN

夏の風物詩「地蔵盆」で年に一度の化粧直し
26年の時を経て開かれたスケッチブック

8月24日、茨木市の中心部、と言っても元茨木川緑地の東側から阪急京都線に挟まれた一帯はそこかしこで地蔵盆のお祭りが開かれる。親子連れの一団がそこここの地蔵さんを巡り歩いている。子どもたちはお参りをして10円のお賽銭を入れ、お菓子をもらって次のお地蔵さんへ向かう。随分と時間を経て続けられてきた地蔵盆、しかし茨木のお地蔵さんにはここより西にはない独特の風習がある。それが化粧地蔵である。

地蔵盆の前日もしくは当日になるとこれまでの化粧を落とし洗い清め「おしろい」を塗り、お顔を描いていく。どのお地蔵様もユニークで愛らしい表情で地蔵盆を迎える。

この化粧地蔵の風習に今から26年前、小学校2年生の森本（現:野口）まゆみさんが夏休みの自由研究で取り組んだ。動機は家の近くの首なし地蔵。気付いてみると近くにいくつもの化粧地蔵が祭られている。これは何かあるのでは?と思って調べていくと、茨木小学校区に集中して40カ所以上の地蔵堂を見つけ出した。しかもほとんどが、お化粧をしたお地蔵様。40箇所以上のお地蔵様の写真やその分布をマップにした調査内容を一冊のスケッチブックにまとめた。

今では、二児の母となったまゆみさん。その大切に保管されていたスケッチブックは、26年の時を経て開かれた。

化粧地蔵のルーツは古く京都から北前船の航路に沿って、各地域に伝わった。また、街道沿いに沿って茨木にももたらされたと考えられる。しかし、何故か地図でもわかるように、元茨木川より西ではほとんど化粧地蔵の風習を見ることができない。まゆみさんが見出したこの謎に挑戦するのは、次は貴方かもしれない。

地蔵盆の様子。上）まゆみさんとスケッチブック。調査のきっかけになった首なし地蔵様と。左）里帰りしたまゆみさんには、地蔵盆にそなえる子どもの名前が刷り込まれた提灯が用意されていた。

知ってますか？！シリーズ vol.5

松沢池は農民パワーで誕生？

茨木市の中心部から西に位置する「松沢池」、実は江戸時代にできた灌漑用水としての溜池なのです。元々、西の方に切池と呼ばれた池床があったのですが、水の分配についての争いや干ばつによる取水困難から、1828年（文政11年）当時の上穂積村、中穂積村、下穂積村、倍賀村の4つの村が大坂の富豪から資金を借り受けて大堤（おおづつみ）を建設。工事は翌年までかかりほぼ現在の松沢池のかたちとなりました。記録には何度か堤が切れ、そのたびに借財を重ねたとあります。銀70貫以上になったこの借財を1833年（天保4年）に領主であった一橋家へ願い出て10ヵ年返済にすることに成功します。この松沢池の建設に取り組んだことが、その後の年貢減免まで4カ村の農民を力強く結びつけました。さて、松沢池の堤の下にもう一つ桝池（ますいけ）と呼ばれる池があります。これは松沢池の水を一旦、ここに満たし一杯、二杯と村別に送り出すためのまさに桝の役割をしています。また、昭和16年ごろには松沢池に橋が架かっており、現在の北春日丘と南春日丘を結んでいました。今でも松沢池の水を抜いたとき橋を架けていた名残の土盛りが現れます。

（現在の南春日丘から見た戦前の松沢池と橋）

なんで、そんな名前なの？
茨木の地名&町名

道を歩いていると「なんで？」と思う地名や町名ってあったりしない？その謎（？）や由来を探ってみたよ！

風景似てる？（佐保、上音羽、下音羽）

奈良市東大寺の北を佐保川が流れています。その辺りの風景と非常に似ているということで佐保の地名が付けられたとか。

音羽は京都の音羽から名付けられたそうです。ただし京都の音羽川、音羽山、音羽の滝は微妙に位置が違います。皆さんでどこと似ているか探して下さい。

（写真:上/佐保　下/下音羽）

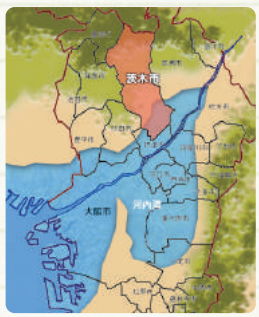
団体様お引越し！（太田、奈良町、新庄町）

時代は異なりますが太田（おおだ）、奈良町、新庄町は住民の集団移住が町名の起こりと言われています。太田は播磨風土記によりますと紀の国（和歌山県）から、奈良町は鎌倉時代以前に奈良から移ってきたと伝えられています。

新庄町は戦国時代末期の茨木城主中川清秀が、新庄城（大阪市下新庄）から移ったとき農民たちも清秀を慕って移り住んだと言われています。

海岸線を探そう！

水尾、玉瀬、真砂、沢良宜浜、高浜、横江、島、宮島、玉島‥これらの町名から砂浜や入江、沖合いの瀬や島々が連想できませんか？縄文時代に阪急茨木市駅近辺が海岸線だったのが、安威川や淀川の堆積土砂で波打ち際が後退し、弥生、古墳時代には上記の地名のような景色があったのでしょう。



丑寅？（丑寅1，2丁目）

十二支の「ね、うし、とら、う‥」などは方角でも使います。「ね」は真北、「うしとら」は北東に当たります。どこから見て北東かと言いますと、三宅城（蔵垣内三丁目）からなのです。このお城は茨木城より大きかったそうです。

川の東なのに西河原？

戦前の安威川は流路がうねり、西河原公園の中を流れていました。もっと昔は疣水神社の前あたりを流れていたと云われています。川は台風、大水などの洪水で流れるコースが変わりますので要注意です。西河原公園内には昔の土手跡が数箇所、石橋が一つ残っています。

泉が湧いてたの！（清水、上泉町、泉原、福井、宇野辺）

太古から茨木に集落があったのは、あちこちに豊富な湧き水があったからです。宇野辺は関係ない地名でしょうと疑問ある人がいると思います。実は「宇」は「井」が訛ったもの、井の辺つまり井戸があり、それを祭った神社「井於神社」は室町時代まで宇野辺にありました。

清水春日神社にある月の清水の石碑

清和天皇が上皇になったときここを訪れ月見をした際、村人が清水が湧く泉に桃の枝を浮かべ、おもてなしをした。

パワースポット！（粟生岩阪、岩倉町、福井）

古代、巨石を使った祭儀場に磐境（イワサカ）と磐座（イワクラ）があります。岩で神域を作ったのが磐境、大きい岩が地表に少しだけ顔を見せているのを祭ったのが磐座。福井は昔、幸井（サクイ）と呼ばれていたそうです。幸福とパワーアップを求めて井戸探しに、巨石探しに出かけませんか!

コト Event イベント

黒井の清水大茶会

平成25年10月12日(土)、13日(日)

豊臣秀吉が好んで茶の湯に使ったとされる「黒井の清水」にちなんだイベント。お茶席をはじめ、同じ水を使った喫茶コーナーや茨木の物産品即売会、お楽しみ抽選会もあり、毎年多くの人でにぎわいます。

■会　場:茨木神社
■奉茶式:12日(土)午前9時
■野　点:両日午前9時～午後3時
■お茶代:500円(お抹茶と上用饅頭、抽選券付き)

茨木麦音フェスト2013 vol.2

平成25年9月22日(日)、23日(月・祝)

全国各地から18社のクラフトビールが茨木に集結!屋外ステージでの熱いプロミュージシャンのライヴ演奏を聞きながら、地元茨木飲食名店のソウルフードを肴に、たくさんの種類のビールを堪能しよう!!2日目のラストステージはローリー寺西が登場!

■会場:茨木市中央公園 南グラウンド(茨木市役所前)
■時間:11時～20時
■入場:無料 ※飲食は有料
　雨天決行 ※荒天により中止になる場合があります
■主催:茨木麦音フェスト実行委員会
■HP:http://ibaraki-bakuon-fest.com/

2013年度 いばらき観光大使が決定しました!

7月27日(土)、28日(日)に開催された第41回茨木フェスティバルより1年間、茨木市のPRを行っていただく「いばらき観光大使」のお二人が決定しました。これから様々なイベントに参加していただく予定です。応援よろしくお願いいたします!

私は生まれも育ちも茨木で、自然もあるし、とても暮らしやすい大好きな街です。観光大使として、これから茨木のいいところをさらに発見して、それをたくさんの人に伝えたいです！明るく元気に一生懸命頑張ります！！

久保めぐみさん

私の人生が始まった場所、茨木！この街に「チョット目をむけてー！！」エネルギー溢れる街「茨木」をたくさんの人、場所でPRし、たくさんの茨木ファンを作ります！！中野利絵、楽しみながら頑張ります。よろしくお願い致します！！

中野 利絵さん

いばらき観光ウォーク

大人気!!

10月 茨木を支えた茨木街道コース
平成25年10月27日(日)

近世の茨木を支えた街道、茨木街道を辿りながら、唐崎・三島江方面を歩きます。

■歩程距離:約8km
■参加費:300円(観光協会会員は200円)
■応募締切:平成25年10月21日(月)

いばらき観光ウォーク 応募方法

応募締切日までに往復ハガキ、またはメールにて代表者の郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数、希望コースをお書きの上、右記宛先までお送り下さい。

〒567-0881　茨木市上中条1-9-20
茨木商工会議所2階　茨木市観光協会宛
メール w-info@ibaraki-kankou.or.jp

注目 フレンド会員募集!

もっと市民の方々が街で楽しんでもらえたらと、年会費2,000円で茨木市内の約80店舗で特典サービスが受けられる「フレンド会員」を新たに設けました。気軽にお問い合せくださいね!

もっと、「茨木」がお得になる♪

加盟店募集中

フレンド会員カード。茨木市観光協会の窓口で登録できます。

■観光協会　電話:072-645-2020
■HP:http://www.ibaraki-kankou.or.jp/

編集後記

■古い地名は貴重な財産!地名からその土地の歴史を知れば、地域に誇りと愛着が生まれるんだよ。(石童子くん)

■前から気になっていた化粧地蔵…こんなミステリーがあったなんて驚きですよね。普段何気なく歩いている道にもまだまだ知らないミステリーがあると思うと、これから歩く度にキョロキョロしちゃいそうです。いつか特集で「茨木の七不思議」やりたいなぁ～。　(いづむ)

■いつも、自転車に乗って信号待ちをしてるとふと目にとまる化粧地蔵さま。ずっと気になっていましたが、たくさんいらっしゃるんですね～☆お見かけしたら、ご挨拶しよっと!(よんよん)

■26年前の夏休みの宿題から始まった茨木ミステリー。まだまだネタは尽きないようです。なにげなく茨木の街を歩いていてふと目にしたもの…関心を持った時から始まるミステリー探索、　何気なくいつも通っている道も、足をとめた時から茨木ロマンの世界が始まりそうです。(TAD)

vol.11 2013冬号
次号は11月発行予定!お楽しみに♪

観光協会事務局などで配布予定です

いろいろ情報盛りだくさん!!ぼくのブログも見てね!

「童子クンのブログ」で検索

茨木市観光協会　http://www.ibaraki-kankou.or.jp/